

「山形県タイ友好協会」会員アンケート結果

山形県タイ友好協会では、本年5月、会員アンケートを実施いたしました。

多くの方々からご回答をいただきありがとうございました。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご提案を、本友好協会の活動へ反映させて参ります。

《対象者・調査方法・回答数など》

- ・ 日本国内の住所で登録をいただいている友好協会会員 259 先へアンケート用紙を郵送し、FAX またはメールにて回答する方法により回収
- ・ 回答数：130 先 （回答率：50.2%）

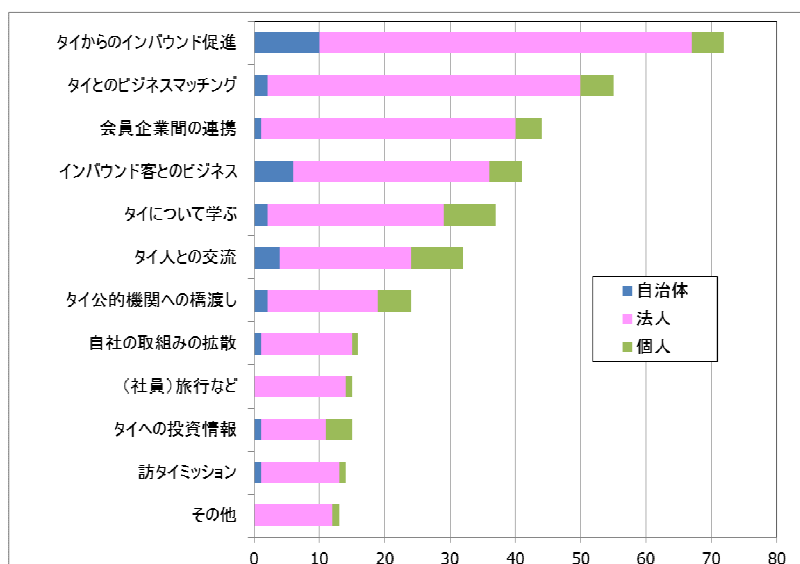
1. Q1：本協会に期待すること

(1) 最も多かった回答は「インバウンド促進」。続いて「ビジネスマッチング」で、特に法人のニーズが高い。

(2) 会員属性別では、法人からは他にも「会員間の連携」、「インバウンド客とのビジネスチャンスの創出」が多かったほか、「公的機関への橋渡し」、「社員旅行」などへのニーズも寄せられた。

(3) また、「訪タイミッション」への要望内容は、インバウンド推進や現地企業との商談会への要望が複数あったほか、日系企業訪問や先行きの現地販売を見据えた経済環境の視察、スポーツ省訪問という回答も見られた。

(4) 一方、個人会員からは、「タイについて学ぶ機会」、「タイ人との交流」が多く、タイについて学びたい内容としては、『経済』『文化』『歴史』のほか、『人柄』『食事内容』『教育』『スポーツ』『自動車産業』などが寄せられた。

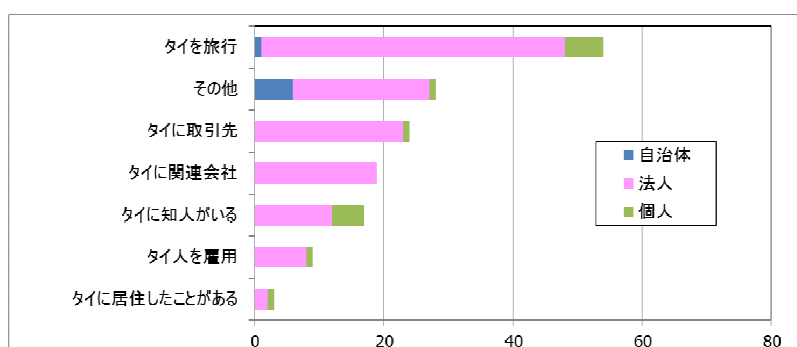


2. Q2：貴社／貴方様のタイとの関わりについて

(1) 最も多かった回答は「旅行したことがある」で、人気旅行先の常連としての地位を裏付ける結果となった。また、「親類・友人などが住んでいる」「居住したことがある」という方々もおり、タイに馴染み深い会員が多いと見られる。

(2) その他、「取引先がある」「関連会社がある」「雇用している／していた」

も多く、会員には何らかの形でタイとつながりのある先が多いと考えられる。



3. Q3：仙台ーバンコク直行便へ期待すること

- (1) 返信先の3割程度にコメントがあり、直行便への関心の高さがうかがわれる。
- (2) インバウンド・アウトバウンドニーズの割合は約半々で、インバウンド側からは、タイおよび周辺国からの仙台を起点とした県内への波及効果に対する期待が高い一方、仙台空港とのアクセス拡充や二次交通機能の整備への要望が寄せられた。
- (3) また、アウトバウンド目線からの意見では、滞在時間などの利便性を考慮したフライトスケジュールのほか、対成田・羽田便および乗継便での価格競争力、運航本数増に加え、LCCなどなど小型便就航への期待が複数あった。

以 上

【ご参考】アンケート設問

Q1 本協会に期待すること ※複数選択可

- (1) 会員企業間の連携の創出
- (2) タイからのインバウンドの促進
- (3) タイからのインバウンド客とのビジネスチャンスの創出
- (4) タイとのビジネスマッチング機会の提供
- (5) タイへの投資(進出)情報の提供
- (6) 本協会内や現地での自社の取組みの拡散
- (7) タイの [経済 ・ 文化 ・ 歴史 ・ その他] について学ぶ機会の提供
- (8) タイ人の方と交流する機会
- (9) タイの公的機関への橋渡し
- (10) 訪タイミッションの実施: ミッションの目的
- (11) 社員旅行などのアドバイス
- (12) その他 (自由記述)

Q2 貴社/貴方様のタイとの関わりについて ※複数選択可

- (1) タイに取引先がある
- (2) タイに関連会社がある
- (3) タイ人を雇用しているもしくは雇用したことがある
- (4) タイを旅行したことがある
- (5) タイに居住したことがある
- (6) タイに親類・友人・知人が住んでいる
- (7) その他 (自由記述)

Q3 仙台ーバンコク直行便へ期待すること/その他協会へのご意見・ご提案